

## 活動名「折れない心を育てるいのちの授業」

1. 日時 令和5年6月10日11日 10:00~翌日13:00

2. 場所 芦原青年の家（芦原市北潟）

3. 内容 折れない心を育てるいのちの授業を通して、自分自身について考え、周りの人たちへの接し方を見つめなおす。  
そして、舎営キャンプが団として一つになるように活動する。

4. 参加人数 23名

5. 活動の様子

ロープ結びの学習から始まり、折れない心を育てるいのちの授業が始まりました。講師の方の問いかけに、普段は大人しいスカウト達が真剣に聞き、考え、自分の意見をしっかり話していました。こんな一面があるんだなとリーダー達もびっくりでした。講師の方からは、大人しい子供たちだけれど芯はしっかりしていますねと言って頂き、スカウトのことを誇らしく改めて思いました。北潟の親子も照れながらも真剣で良かったです。続いて、パン巻きをしました。授業の効果か、以前より協力的になって、仲良く作り、自分に対しても途中でリーダーに頼ることなくやりとげていました。

誰一人残すことなく完食にはびっくりでした。北潟の親子も参加して良かったし、ガールスカウトに興味を持って頂きありがたいお話をさせていただきました。それから、ウォークラリーで、北潟湖のまわりを仲間と歩きながらクイズをしました。夜には、キャンドルサービスをして初めての雰囲気を楽しみながら、スカウトが頑張って発表したりしました。次の日は、カラーリングをして記念の革キーホルダー作成。充実した舎営キャンプになりました。青年の家の規則に従って、後始末や食事の仕方、浴室の使い方など学べてこれからの良い経験にもなりました。ガールスカウトとしてはスカウトオンや野外活動を学びました。

6. 事業の成果

ほとんどのスカウトが初めてのお泊り経験である今回の舎営キャンプで、リーダーも久しぶりの舎営キャンプでバタバタと緊張から始まりましたが、やはり舎営キャンプは活動内容にもよりますがスカウトたちの仲が良くなり絆が深まります。自分たちで頑張るという姿勢が見られ、今後の集会にも喜びの変化を期待できそうです。  
SDGsをやったことは、生きていく所々でスカウトの心に残って良い影響をもたらしてくれそうです。